

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市神内2丁目マンション	階数	地上15F
建設地	大阪府高槻市神内2丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	95 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2019年5月1日
敷地面積	1,367 m ²	作成者	株式会社ユマ設計 安達 裕一
建築面積	382 m ²	確認日	2019年5月1日
延床面積	3,210 m ²	確認者	株式会社ユマ設計 安達 裕一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

① 参照値: 184 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 92 (kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.6

Q2 サービス性能: 3.3

Q3 室外環境(敷地内): 2.8

LR1 エネルギー: 4.1

LR2 資源・マテリアル: 3.0

LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者の快適な生活環境を維持するため、安全性の面からはF☆☆☆の内装材の使用し、耐用年数の高い建材の利用、節水型機器の使用など資源の有効利用に心がけている。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮性能を高め、住宅性能表示基準断熱等性能等級4取得。 使用建材は全てF☆☆☆☆を採用。	階高を3.0m確保し、対応性、更新性に配慮し、住宅性能表示基準の劣化対策等級3の取得により耐用年数の長い建物としている。	できる限り緑地を設けている、またプレイロットを設けるなど地域住民に憩いの場を提供している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の採用。	ノンフロン断熱材の採用やエコ製品の採用等環境保護に努めている。 節水型便器を採用し資源の有効利用に努めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率=69% 広告物照明なし。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0044

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市神内2丁目マンション計画 新築工事					
	建設地	大阪府高槻市神内2丁目					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		